

光ネットワーク整備事業

各地で説明会が開催されている光ネットワーク整備事業。みなさんの関心も高いことと思います。

今号では光ネットワークの運営・管理を担当する中国ブロードバンドサービス株式会社を紹介します。

光ネットワークが整備されることのメリット等、代表取締役社長 秦野 仁志さんに語っていただきました。

安芸高田市と一緒に成長していきたい

—中国ブロードバンドサービスとは、どのような会社？

北海道などで導入実績のあるワイコムと京セラコミュニケーションシステムが共同出資して設立した会社です。ワイコムは、FWA（無線）方式でブロードバンド対策を行ってきました。今回、そのとき培ったノウハウを活かして、安芸高田市では、FTTH（有線）方式とFWA方式を組み合わせた事業を行うと考えています。

—FTTH方式とFWA方式を組み合わせると？

安芸高田市は面積が広く、全てに光ファイバ網を敷けるわけではありません。どうしても光ファイバを敷くことが困難な地域があります。そうした地域には、光ファイバとほとんどサービス上違いが

ない無線を整備することで対応したいと考えています。この有線と無線を組み合わせた事業は、日本国内ではほとんど見当たりません。安芸高田市が先進地です。そういった意味では、今回、安芸高田市が行う光ネットワーク整備事業が他の市町のモデルになってくれたらと思います。

—どのような業務を行う？

お太助フォン（IP告知端末）を利用した放送や、文字情報の配信業務がまず挙げられます。今までは違い、お太助フォンでは、音声に文字情報をプラスして提供できます。さらに再生機能が付いているので、後で聞き直すことも可能です。お太助フォン同士では、無料で通話できますし、テレビ電話としても利用できる、更に、市外へかけても、普通の電話に比べて安く利用することができます。他にも色々機能がありますが、



中国ブロードバンドサービス株式会社
代表取締役社長
秦野 仁志 さん

どれも魅力的なサービスだと考えていますので、是非、利用して下さい。他には、インターネット接続のサービスなどもあります。インターネットは、企業誘致をする際など大きな力を発揮するので、こちらの業務も大切ですよ。

—中国ブロードバンドサービスが目指すものは？

安芸高田市に腰を据え、安芸高田市で雇用を行うなど安芸高田市に密着した事業を展開していきたいと考えています。市民のみなさんに必要とされる会社にしていきたいです。

私は、安芸高田市で行う光ネットワーク整備事業が全国に広がっていくと考えています。そのためには市民のみなさんに満足していただけるサービスを、まずは安芸高田市で展開しなければなりません。安芸高田市と一緒に中国ブロードバンドサービスも成長していけたら、と考えています。

お太助フォンの申込受付が始まりました！

光ネットワーク整備事業で設置する、お太助フォンの個人申込の受付を開始しました。受付場所は、安芸高田市役所2階情報政策課です。

また、各支所でもお受けいたします。郵送の場合は、返信用封筒をご利用ください。吉田町、八千代町、美土里町、高宮町の一次締切は8月31日（金）としておりますので期日までにお申込を頂きますようお願いいたします。（甲田町、向原町については、別途期日を設定させていただいております。）

申込書の配布については、現在各行政区において、「お太助フォンの設置について」の説明会を実施しております。この説明会で申込用紙を配布いたしますので、説明会への出席をお願いいたします。なお、申込に当たっては世帯単位としておりますので申込用紙には世帯主名を必ずお書き頂きお申してください。

お問合せ先

企画振興部 情報政策課

42-2112